

「江戸川区景観計画（改定案）」の意見募集結果について

「江戸川区景観計画（改定案）」に関する意見募集手続きは、令和5年2月15日から2月28日までの期間で行いました。その際、4名より計4件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見及び区の考え方は、以下の通りです。

1 意見募集手続きの概要

(1) 意見募集期間

令和5年2月15日から2月28日までの間

(2) 周知方法

ア 区公式ホームページに掲載

イ 令和5年2月15日号の「広報えどがわ」に掲載

※都市開発部都市計画課窓口に掲載用の印刷物を設置

(3) 意見の提出方法

ア 区公式ホームページ

イ 持込み又は郵送

(4) 提出先

都市開発部都市計画課都市計画係

2 意見募集の結果

	頂いたご意見	区の考え方
1	素晴らしいと思います。	ご意見ありがとうございます。
2	葛西臨海公園の原木 1400 本を切り倒す。切った後はソーラーパネルの設置、と聞きました。自然保護は後回しでしょうか。鳥や虫、地盤強化、木々の力強さを再考ください。台風の強風や大雨による漏電など不安があります。ソーラーパネルは永遠ではありません。	ご意見ありがとうございます。葛西臨海公園については、東京都が事業を進めています。新しい水族園の建設や太陽光パネルの設置にあたっては、樹木への影響を極力減らすよう配慮しながら設計を進めていると聞いております。

3	<p>江戸川区の景観計画と東京都の葛西臨海公園マネジメントプランを拝見し、意見させていただきます。どちらのプランも葛西臨海公園での動植物の保全と景観の重要性を謳っておりますが、報道で出ております葛西臨海公園の太陽光パネル設置については動植物の保全も景観も江戸川区の景観計画にそぐわないのでは？と、感じます。確かに建設予定地のあたりは雑木林で薄暗く景観がよいとは言えませんが、毎年夏には子供とセミやカブト虫を探しに行く場所でもあります。鳥類も多くいる場所だとも思いますので、森林伐採から木の実や昆虫の減少、鳥類の減少へ繋がるのではないかと危惧しております。景観計画と太陽光パネル設置について江戸川区の考えを教えてください。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 葛西臨海公園については、東京都が事業を進めています。新しい水族園の建設や太陽光パネルの設置にあたっては、樹木への影響を極力減らすよう配慮しながら設計を進めていると聞いております。既存のみどりを大切にするという事では、区の考えと合致していると考えています。</p>
4	<p>本改定案に基づき早急に改定されるべきである。</p> <p>江戸川区景観計画が現状のまま改定がなされないことは絶対に避けるべきであり、江戸川区発行の資料に記載されている通り、令和5年度から早急に改定されるべきであると考えます。</p> <p>江戸川区の近隣においては、アクセント色使用可能割合として外壁面積の10%～20%と定めている景観行政団体（区や市）が複数存在するのが実態であるが、江戸川区においては、長きに渡り0%であった。</p> <p>今回、江戸川区都市計画マスタープラン及び東京都景観計画の改定や新たなまちづくりが進捗していることに伴って、アクセント色が5%まで導入可能となることは完全に満足のいくものではないにしても一歩前進したものであると考えます。</p> <p>本来は、近隣の景観行政団体（区や市）</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 今回の改定により、使用可能な色彩の範囲が広がりますが、今後もまちなみの変化や時代のニーズを踏まえ、検討を進めていきます。</p>

<p>と同様に、アクセント色として外壁面積の10%～20%を導入可能とする改定案が妥当であると考えているが、現行の0%の景観計画が今後も続くことは時代のニーズにまったく合っていないため、今回の改定を皮切りとして将来的には10%～20%も可能とする改定がなされ、「元気で明るい街づくり」ができるようになることを望むものである。</p> <p>また、「元気で明るい街づくり」のため、アクセント色とは別途の強調色についても、将来的に明度・彩度の範囲を拡張する改定がなされるべきであると考えている。</p> <p>なお、「壁面の考え方」「使用位置」「アクセント色と強調色の合計使用可能割合」などについては、地域特性や個別性に合わせた柔軟な解釈がなされるように運用されることが望ましいと考える。</p>	
--	--